

学校だより

12月号

小倉小学校

平成30年12月1日

人生最後のリレー

学校長 西本和広

木枯らしが吹き、北からは雪の便りもちらほらと聞こえ、街には、クリスマスの飾りが目につく頃となりました。運動会、文化まつり、修学旅行(6年)、紀北合宿(5年)など多くの行事があった2学期でしたが、気がつけば、1年の締めくくりの月となりました。この1年間のご協力に感謝申し上げます。

先月の土曜参観の後、有本宗生先生の講演会を実施しました。その中では、先生が教職につかれていたころの逸話をいくつかお話しいただきました。その中から、一つをご紹介します。

運動会を控えたある日、4年生の児童数人が校長室にやってきて「今日から放課後にリレーの練習をやりたいので、運動場を使わせてください」と頼みに来ました。「貸してあげたいのはやまやまだけど、君たちだけに貸すことはできないから、ごめんね」と断った後、担任の先生にそのことを話します。担任の先生は「じつは、この子たちのチームに心臓に病気のあるA君がいて、医師から50メートル以上走ってはダメとされています。5年生になると走る距離が増えるので、A君にとっては今度の運動会が人生最後のリレーになるので、彼をアンカーにして1位でバトンを渡したい。A君が抜かれても、一つでもいい順位でゴールさせたいと子どもたちが話合っていたので、来たんだと思います。」とのことでした。

翌日から、その子たちは学校の前の公園で毎日練習をはじめました。そして、迎えた運動会当日、4年生のリレーが始まります。有本先生もドキドキしながら見守っていました。子どもたちの計画どおり、1位でA君にバトンが渡ります。A君は自分にできる精一杯の力で走りますが、抜かれていきます。そして、ゴールの前で最後の一人にだけ抜かれることなく3位でゴールを駆け抜けます。すると、チームの子どもたちは「やったー」と大喜びです。順位発表でも、3位「〇色」とアナウンスされたとき、1位になったチーム以上に歓声を上げて喜んでいました。そんな事情を知らない観覧の保護者の皆さんには不思議な顔をしていた人もいたそうです。有本先生は「本当によかったな」という気持ちと同時に、喜んでいる子どもたちを見ながら、胸がいっぱいになったそうです。

このほかにも、不登校の女の子とそのお母さんとのかわりや、その子の立ち直りを支えた子どもたちの行動など、聞いていて心が温まるお話を聞かせていただきました。

次年度も講演会を開催予定ですので、多くの保護者の皆さんが参加されますようお願いいたします。



12月行事

- 2日(日) PTA合唱祭(市民会館)
- 3日(月) 登校指導、世界遺産見学(5年)
- 4日(火) 皆樂園見学(6A)
あいさつ運動(下校)
- 7日(金) 和歌山市音楽会(市民会館・6年)
- 8日(土) 育友会親子クッキング教室
- 10日(月) 生活点検週間
読み聞かせ(1年)
- 13日(木) 高積ブロック特別支援交流会
- 16日(日) 育友会親子寄せ植え
- 17日(月) スクールカウンセラー
- 19日(水) クラブ活動
- 20日(木) ALT
- 21日(金) 終業式
- 23日(日) 天皇誕生日
-
- 1月7日(月) 始業式

紀北青少年の家合宿(5年)



野外炊事の様子です。

和歌山高校生徒による読み語りボランティア



11月20日、和歌山高校の生徒による、読み語りを1、2年生教室で行いました。

大型絵本、紙芝居や手遊び歌などを披露してくれました。

折々の詩

おちば、おちば、きの はっば。
 やまの こざるが ひろったら、
 おもちゃの おかねに するかしら。
 ならのき、かしのき、きの はっば。
 もりの こりすが ひろったら、
 でんしゃの きつぶに するかしら。
 おちば、おちば、はっばっば。



「おちば」 よだじゅんいち